

# いじめ防止に向けて①

(参考資料5)

## ～学級の中で想定される「いじめ事案」に対応するために～

### 道徳教育は先手の教育

いじめや偏見などの事案が発生しないように、児童生徒の心が荒れないように教育活動を進めていくことが大切です。

### 【想定される事案（例）】

咳やくしゃみをした児童生徒に対する誹謗中傷



熱を出して、保健室へ行った児童生徒に対するうわさや偏見



欠席した児童生徒に対するうわさや偏見

体調のすぐれない児童生徒を避けるようになる

気分がすぐれない児童生徒に対する誹謗中傷や仲間外し

体調が回復し、登校した児童生徒に対して避けるようになる

### 【このような事案が起きないようにするために（例）】

次のようなことを、事前に指導しておく（伝えておく）

- 誰もが、感染する可能性があること
- 根拠のない決めつけ、うわさ、偏見は、いじめと同様の行為であること
- みんなで協力しなければ、感染拡大防止には対応できないこと

- 咳や発熱にも、様々な原因があること
  - ・風邪
  - ・ぜんそく
  - ・アレルギー等

- 具合が悪くなったら、先生は全員に同じように対応するということ
  - ・保健室に連れていき、熱を測る
  - ・発熱の症状が出た場合は、教室や保健室等を消毒する等

### 【日常の道徳教育と道徳科の授業の両輪で指導していく】

- 学校では、日々、朝の学活から帰りの学活まで道徳教育が行われています。
- いじめにつながるような小さな芽も見逃さず、即座に指導していくことが大切です。

道徳

- 道徳科の授業は、計画的な指導が大切です。いじめの教材を扱う場合、いじめ事案が発生してからではなく、事前に扱うことが大切です。

# いじめ防止に向けて② (小学校)

## ～教科書に掲載されている「いじめ防止」に向けた教材～

課題となっている授業

「いじめは許されない」ということを児童生徒に言わせたり書かせたりするだけの授業



求められる授業

いじめやいじめにつながる具体的な問題場面について自分自身のこととして多面的・多角的に考え、議論していく授業

- ・どのようなことが、いじめになるのか。
- ・なぜ、いじめが起きるのか。
- ・なぜ、いじめはしてはいけないのか。
- ・いじめはいけないと分かっているにもかかわらず、なぜ止められないのか。
- ・どうすれば、いじめを防ぐこと、解決することができるのか。
- ・いじめにより生じた結果について、どのような責任を負わなくてはならないのか。等

光文書院

| 学年 | 教材名           | 内容項目       | この学習を通して、育みたい心情・判断力・態度など（例）       |
|----|---------------|------------|-----------------------------------|
| 小1 | 「ぼくはいかない」     | 規則の尊重      | いじめの場面に出合ったときに、それを許さないという態度を育みたい。 |
| 小2 | 「くつかくし」       | 正直・誠実      | してはいけないことは、絶対してはいけないという心情を育みたい。   |
| 小3 | 「うわさ話・つらい気持ち」 | 相互理解・寛容    | 「うわさ話」を安易に信じたり、広めたりしない態度を育みたい。    |
| 小4 | 「良太のはんだん」     | 公正・公平、社会正義 | 誰にでも分け隔てなく接しようとする心情を育みたい。         |
| 小5 | 「ガンジーのいかり」    | 公正・公平、社会正義 | いわれのない差別や偏見をなくそうとする心情や態度を育みたい。    |
| 小6 | 「森川くんのうわさ」    | 公正・公平、社会正義 | 学級の中の仲間外れを、許さない・見逃さない心情や態度を育みたい。  |

学 研

| 学年 | 教材名            | 内容項目       | この学習を通して、育みたい心情・判断力・態度など（例）       |
|----|----------------|------------|-----------------------------------|
| 小1 | 「みらいくんの え」     | 公正・公平、社会正義 | 人によって態度を変えず、誰とでも仲良くしようとする心情を育みたい。 |
| 小2 | 「つくえふき」        | 公正・公平、社会正義 | 人によって態度を変えず、公平に接していこうとする心情を育みたい。  |
| 小3 | 「言い出せなくて」      | 善悪の判断、自律   | 何気ないあだ名等により、人を傷つけない態度を育みたい。       |
| 小4 | 「友だちが泣いている」    | 善悪の判断、自律   | 何が正しくて、何がいけないことなのか判断する力を育みたい。     |
| 小5 | 「いじめをなくすために」   | 公正・公平、社会正義 | いじめを許さない心情や何がいじめになるのか判断する力を育みたい。  |
| 小6 | 「温かい行為が生まれるとき」 | 親切・思いやり    | 相手の気持ちや立場を考えた行動をとろうとする心情を育みたい。    |

# いじめ防止に向けて② (中学校)

## ～教科書に掲載されている「いじめ防止」に向けた教材～

課題となっている授業

「いじめは許されない」ということを児童生徒に言わせたり書かせたりするだけの授業



求められる授業

いじめやいじめにつながる具体的な問題場面について自分自身のこととして多面的・多角的に考え、議論していく授業

- ・どのようなことが、いじめになるのか。
- ・なぜ、いじめが起きるのか。
- ・なぜ、いじめはしてはいけないのか。
- ・いじめはいけないと分かっているにもかかわらず、なぜ止められないのか。
- ・どうすれば、いじめを防ぐこと、解決することができるのか。
- ・いじめにより生じた結果について、どのような責任を負わなくてはならないのか。等

日本文教出版

| 学年 | 教材名              | 内容項目       | この学習を通して、育みたい心情・判断力・態度など (例)         |
|----|------------------|------------|--------------------------------------|
| 中1 | 「さかなのなみだ」        | 公正・公平、社会正義 | 自分の学級を、いじめのない集団にしようとする態度を育みたい。       |
|    | 「いじめ」って何？ (補助教材) | 公正・公平、社会正義 | いじめの構造を理解し、いじめを許さない態度を育みたい。          |
| 中2 | 「リスペクト・アザーズ」     | 公正・公平、社会正義 | いわれのない差別や偏見を許さない心情や態度を育みたい。          |
|    | 「ハイタッチがくれたもの」    | よりよい学校生活等  | 自分の学校や学級を、いじめのない集団にしようとする態度を育みたい。    |
| 中3 | 「卒業文集最後の二行」      | 公正・公平、社会正義 | いじめは残酷な行為であることを理解し、許さない態度を育みたい。      |
|    | 「私たちは、なぜ人を攻撃するの」 | 相互理解・寛容    | 相手のことを押し量りながら、自分の気持ちを伝えようとする態度を育みたい。 |

東京書籍

| 学年 | 教材名              | 内容項目        | この学習を通して、育みたい心情・判断力・態度など (例)    |
|----|------------------|-------------|---------------------------------|
| 中1 | 「いじめに当たるのはどれだろう」 | 相互理解・寛容     | どのような行為がいじめに当たるのか判断する力を育みたい。    |
|    | 「傍観者でいいのか」       | 自主、自律、自由と責任 | いじめの構造を理解し、いじめを許さない態度を育みたい。     |
| 中2 | 「私のせいじゃない」       | 公正・公平、社会正義  | いじめを受けている人の気持ちを押し量ろうとする心情を育みたい。 |
|    | 「あの子のランドセル」      | 自主、自律、自由と責任 | いじめは残酷な行為であることを理解し、許さない態度を育みたい。 |
| 中3 | 「無実の罪」           | 公正・公平、社会正義  | 根拠のないうわさによる仲間外し等を許さない心情を育みたい。   |
|    | 「ある日の午後から」       | 自主、自律、自由と責任 | 自分の行為が、他人を傷つけていないか振り返る態度を育みたい。  |

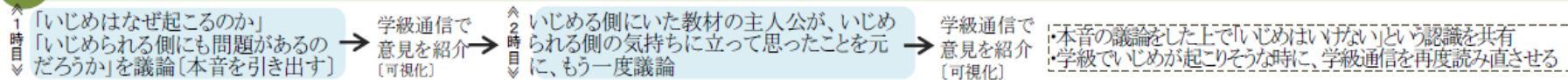
# いじめ防止に向けて③

## ～「私たちの道徳」に掲載されている教材を使った授業イメージ～

### いじめについて考え、議論する積極的な取組の例

#### 中1 道徳の授業で出たいじめに関する意見を学級通信で紹介し、考えを広げ深める授業

「考え、議論する道徳フォーラム」(H28.7.27読売新聞東京本社主催、文部科学省委託)発表事例より



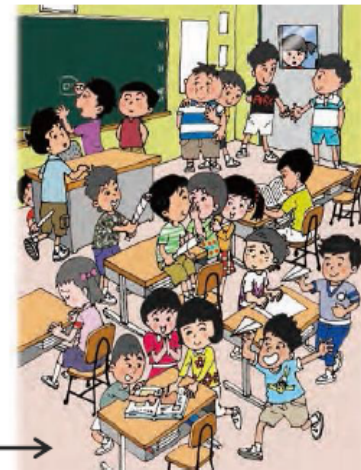
#### 小6 傍観者、いじめる側、いじめられる側のそれぞれの視点に立って考える授業

「道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」柳沼良太岐阜大学准教授発表事例より

《問題場面》教材:私たちの道徳(小学校5・6年)より「そうじの時間」

Aさん(傍観者) Bさん(いじめる側) Cさん(いじめられる側)  
ごみ箱を運ぶ当番 「C、おまえが行けよ」 ごみ箱を押し付けられる

「あなたがAさんならどうしますが」「あなたがCさんならどうしますか」を問い、どのように行動したらよいかを考える



#### 小5 問題場面において「何が問題だったのか」「自分ならばどうするか」を問う授業

「考え、議論する道徳フォーラム」(H28.7.27読売新聞東京本社主催、文部科学省委託)発表事例より

《問題場面》教材:私たちの道徳(小学校5・6年)より「知らない間の出来事」

主人公が友達に「転校してきた女の子が携帯電話を持っていない」と伝えたら、「前の学校で仲間外れにされていた」と歪曲して伝言されてしまう。

「何が問題だったか」「どうすれば問題を回避できたか」様々な可能性を考え、相手も自分も幸福になれる関係を大切にする。

#### 小4 教室の風景を描いた絵を見て、どこに問題があるのか考えさせる授業

「わたしたちの道徳」(小学校3・4年)増補版より

子供たちが遊んでいる休み時間の教室を描いた絵(右図)を見て、どこが問題なのか(いじめやいじめにつながるものは何か)考えさせる

#### 小2 役割演技を通して、仲間はずれにする側の気持ち、される側の気持ちを考える授業

「初等教育資料」(平成28年5月号)掲載事例より

《問題場面》教材:わたしたちの道徳(小学校1・2年)より「およげないりすさん」

かめ・あひる・白鳥は、池の中の島へ泳いで遊びに行こうとする。泳げないりすから「いっしょにつれていってね」と頼まれるが断って行ってしまふ。

「仲間はずれしようとする役(あひる)」と「一緒に連れていこうとする役(白鳥)」といった立場を演じることで「平等な優しさで接することができたときの気持ち」などを実感を持って理解する。

#### 高1 特活 インターネットの書き込み例をもとに議論した後、新聞記事で事例を読んで考える授業

「いじめの問題に対する取組事例集」(平成26年11月)掲載事例より

《問題場面》友達にこう書き込まれたら何と思う

『本当にもう一緒に行動するのがイヤ。まじでうざい。…思っても直接は言えない。まじ苦痛…』

教材:いじめを苦しめた自殺に関する新聞記事

→ 体が弱く学校を休みがちだった中3女子。運動会を前に登校に意欲を見せるも、誹謗する匿名の書き込みに傷つき、自ら命を絶つ

「これまでのネット利用を振り返る。匿名の書き込みによるいじめの理不尽さに気付く。」

本資料 ⇒ [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/28/11/\\_icsFiles/afieldfile/2016/11/18/1279623\\_1\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/11/_icsFiles/afieldfile/2016/11/18/1279623_1_1.pdf)

平成29年7月 文科省【行政説明資料】道徳教育の抜本的充実に向けて

「私たちの道徳」はダウンロードできます。⇒[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm)